芳野保育園 感染症のしおり

(令和5年5月~)

- ・感染症について
- 登園停止になるもの(A「意見書」が必要なもの)
- 登園停止になるもの(B「登園届」が必要なもの)
- 登園停止にならないもの(C「治癒届」の必要なもの)



「病気の種類によって多くの園児にうつります」

感染症と診断された時には、他のお子さんへの感染を出来るだけ防ぐため、また、感染した お子さん自身が他の病気を併発しないためにお休みいただきます。

受診した際には、保育園に通っていること、また、園で流行している感染症等を医師に伝えて下さい。感染症の診断・疑いが出た場合には、保育園に連絡をして下さい。

【受診後は・・・】

医師の許可が出た場合、登園可能になります。

登園の際や治療が完了した場合には、感染症の種類により

A「意見書」、またはB「登園届」、またはC「治癒届」を提出して下さい。

A「意見書」・・・書式は問わず、各医療機関の発行するものでもよい。医師が記入。

B「登園届」· · · 医師の診断に基づき、保護者が記入。

C「治癒届」· · · 医師の診断に基づき、保護者が記入。

- •「登園基準」をそれぞれ確認し、決められた期間は休むようにご協力お願いします。 前日の夜まで熱や下痢などの症状がある場合は、もう一日休むなど様子を見て下さい。お 子さんの体調を見て、普段の生活が出来る事を確認して下さい。
- ・園内、クラス内での流行が疑われる場合は、掲示やまちこみメールでお知らせします。

登回停止になるもの

【登園の際、A「意見書」が必要なもの】(裏面の書式をコピーして使用して下さい)

	病名	潜伏期間	主要症状	登園基準
	麻しん (はしか)	8~12∃	38℃前後の発熱・咳 鼻汁・結膜充血・目やに・ 発しん	熱が下がってから3日を経過 するまで
	インフルエンザ (鳥・新型除く)	1~4 ⊟	高熱、関節・筋肉痛 全身の倦怠感、頭痛 咳・鼻水・のどの痛み	発症後5日経過かつ解熱後3 日を経過するまで
提出書類は、	新型コロナウイルス 感染症	発症後 5日間	無症状のまま経過することもあるが、有症状者では、発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常など	(有症状の感染者)発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること(無症状の感染者)検体採取日を0日目として、5日を経過すること
A「意見書」	風しん (三日はしか)	16 ~18週	38℃前後の発熱、発し ん、リンパ節の腫れ	発しんが消えるまで
	水 痘 (水ぼうそう)	14 ~16⊟	発しん→水疱→かさぶた 軽い発熱	全ての発しんがかさぶたにな るまで
※書式は問わずる	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	16 ~18週	発熱・耳の前下部の腫れ と痛み(押すと痛む)	耳下腺などの腫脹が発現して から5日を経過するまで、か つ全身状態が良好になるまで
わず各医療機関	結核	3 か月 〜数十年	咳・痰・発熱で始まり おおむね2週間以上続く	医師により感染の恐れがない と診断された時
の発行するも	咽頭結膜炎 (プール熱)	2~14 ⊟	39℃前後の発熱 のどの痛み・目やに 結膜の充血	主な症状がなくなり日を経過 するまで (医師の許可がある までプールはなし)
ものでよい	流行性角結膜炎 (はやり目)	2~14日	目の異物感、充血、まぶた の腫れ、目やに、瞳孔に点 状の濁り	感染力が非常に強い為、結膜 炎の症状が消失するまで (必ず眼科を受診)
、医師が記入。	百日咳	7~10日	コンコンという短く、激しい咳が続く	特有の咳が出なくなり抗菌薬 による5日間の治療が終了し ていること
入。	腸管出血性 大腸菌感染症 (O157、O26 O111)等	大腸菌 10時間~ 6日 0157 3~8日	激しい腹痛・頻回の水様 性の下痢、血便	医師により感染の恐れがない と診断された時
	急性出血性結膜炎(アポロ熱)	24 時間 または 2~3 日	目の激しい痛み 結膜が赤くなる 異物感・涙が出る	医師により感染の恐れがない と診断された時
	侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜 炎)	4 日以内	発熱・頭痛・嘔吐 急速に重症化する場合 がある	医師により感染の恐れがない と診断された時

意	見	書	(医師記入)
NEW .	グビ	T	((() () () () ()

芳野保育園園長	殿
力判不自困困以	严 义

園児名	7		
(年	月	日生)

(病名) (該当疾患に 図をお願いします)

麻しん(はしか)※
インフルエンザ ※
新型コロナウイルス感染症 ※
風しん
水痘 (水ぼうそう)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
結核
咽頭結膜炎(プール熱)※
流行性角結膜炎
百日咳
腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111)等
急性出血性結膜炎
侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)

症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。 年 月 日から登園可能と判断します。

牛	月	<u> </u>
	— 牛	<u>华</u> 月

※必ずしも治癒の確認は必要ありません。意見書は症状の改善が認められた段階で 記入することが可能です。

※かかりつけ医の皆さまへ

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症について「意見書」の記入をお願いします。

※保護者の皆さまへ

上記の感染症について、子どもの病状が回復し、かかりつけ医により集団生活に支障がないと判断され、 登園を再開する際には、この「意見書」を保育園に提出して下さい。

登回停止になるもの

【登園の際、B「登園届」が必要なもの】(裏面の書式をコピーして使用して下さい)

	病名	潜伏期間	主要症状	登園基準
	溶連菌感染症	2~5⊟	高熱(39℃前後) 発疹・扁桃の発赤や腫 れ咽頭痛・イチゴ舌	抗菌薬内服後 24〜48 時間経 過していること
提出	マイコプラズマ 肺炎	2~3週間	発熱・乾性の激しい咳 が続く 咽頭炎、胸部 レントゲン陰影	発熱や激しい咳が治まってい ること
提出書類は、B	手足口病	3~6⊟	軽い発熱(2~3 日) 小さな水疱が口の中や 手足に出来る	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の 影響がなく普段の食事がとれ ること(夏季に流行)
「登園届」 ※	伝染性紅斑 (りんご病)	4~14 ⊟	両頬に少し盛り上がった蕁麻疹様の発しん・ 手足に網目状の紅斑、 発熱	全身状態がよいこと
※医師の診断に基づき、	ウイルス性胃腸炎 (ノロ、ロタ、 アデノウイルス等)	ロタ 1~3日 ノロ 12~ 48時間	発熱・腹痛・下痢	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること (冬に流行する乳幼児の胃腸 炎はおもにウイルス性)
つき、保護者が記入り	ヘルパンギーナ	3~6⊟	高熱(38−39℃) のどの痛み、発赤、のど の奥に小さな水疱	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の 影響がなく普段の食事がとれ ること
が記入。	R S ウイルス 感染症	4~6∃	発熱・鼻水・咳・喘息 呼吸困難	呼吸器症状が消失し、全身状 態が良いこと
	帯状疱しん	水疱を形成している間	神経痛、刺激感を訴える、かゆみ	全ての発しんがかさぶたにな るまで
	突発性発しん	9~10 ⊟	高熱が3日間程度続き 解熱と共に全身発しん	解熱後、機嫌がよく全身状態 が良いこと

				園児名			
			-	(年	月	日生
(病名) (討	変当疾患に ▽ :	をお願いします	-)				
()(1)-[1]	1	画感染症	,				
		プラズマ肺炎					
_	手足口						
	伝染性	<u></u> 上紅斑(りんご)	病)				
	ウイル	ンス性胃腸炎					
	()口	ロウイルス、ロ	タウイル	ス、アデ	ノウイルス	ス等)	
	ヘルバ	ペンギーナ					
_	RSウ	イルス感染症					
	帯状疱	しん					
	突発性	発しん					
<u>(医療機関名)</u> 病状が回復し集 より登園いたし		障がない状態と		` .		日受診)	
					年	月	

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐこと で、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症については、登園基準を参考に、かか りつけ医の診断に従い、「登園届」の記入及び提出をお願いします。

登画停止にならないもの

【治療が終了した場合、C「治癒届」が必要なもの】

(裏面の書式をコピーして使用して下さい)

	病名	潜伏期間	主要症状	登園基準
提出書類は	アタマジラミ症	10 ~30⊟	小児では多くが無症 状	駆除を開始していること
「治癒属」 ※医師	疥癬			
※医師の診断に基づき、	伝染性軟属腫 (水いぼ)	2~7週間	球状のイボ	他人への感染の恐れがないと医師が認めた時。浸出液が出ている時は要被覆
き、保護者が記入。	伝染性膿痂しん(とびひ)	2 ~10日	顔や手に米粒~豆大 の水疱→破れて膿が でる→かゆみ	皮疹が乾燥している 必ずガーゼで覆う
記入。	B型肝炎	急性では 45~ 160日	全身倦怠感、発熱、食 欲不振、黄疸など	症状が消失し全身状態が良いこと

※「治癒届」の提出がない場合、夏季のプールは入れません。【伝染性軟属腫(水いぼ)を除く】

芳野保育園園	園長 展	<u> </u>						
					児名			
				(年	月	日生
	to the least of the same							
(病名) (該)	当疾患に☑を	とお願いし ジラミ症	ます)					
	- アダマ	ンフミ症						
		軟属腫(ク	水いぼ)					
	+	膿痂しん)				
	B型肝	炎						
(医療機関名)				(年	月	日受診)(こおいて
治癒したと判断さ	されました。							
						Æ	п	r
						<u> </u>	<u>月</u>	F
				保護者	名			

※保護者の皆さまへ

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症については、登園基準を参考に、かかりつけ医の診断に従い、「治癒届」の記入及び提出をお願いします。